

【名称】 **チャイルドシートの補助具**  
**事故時の幼児の首への衝撃軽減**

【特許】 登録第4466617号

【**新技術-1**】チャイルドシートで、事故や急ブレーキによる前方向への惰性を止めたとき、制止されない頭部が瞬時に前方向へ引っ張られ、そのときの首への過度の負担を軽減する目的で、座席などに取り付けたクッションが、事故時に限り顔面を覆って首への負担を軽減する新装備です。**特に、首の座りが弱い幼児や年少者には有効です。**

【**新技術-2**】事故或いは急ブレーキによる過度の惰性により、ベルトに挟んだ柔軟素材のクッションをベルトで圧迫して、その惰性の圧力によりクッションの形状を変えて顔面を覆う装備です。「海で使用する浮き袋の様なもので、60%程度の膨張で装着して、事故時の圧迫により100%の膨張となり、そのクッションの形状を変えて顔面を覆う装備」、或いは「通常走行時はクッションを曲げてフックで留めて、事故時の圧迫によりフックが外れて顔面を覆う装備」です。**その他、クッションの形状は無限に考えられます。**

【**従来技術の問題-1**】チャイルドシートで体を座席に固定し、事故による体の前方への移動をベルトで制止したとき、ベルトにより頭部の制止はできないので、頭部のみが前方へ移動する強力な惰性の力が加わる。特に、子供や高齢者などの首の力が弱い人の場合、首の器官を圧迫したり、逆ムチ打ちと言った状態になり、呼吸が困難になる可能性がある。

【**従来技術の問題-2**】3点式シートベルトを着用時の、サブマリン現象のときの安全対策です。サブマリン現象とは事故のときに搭乗者が椅子から(下方へ)滑り落ちる、そのような事故のケースのときに、肩から腰に斜めに装着されたベルトが首にかかり、ベルトにより首を過度に圧迫します。ベルトによる首の過度の締め付けを避ける目的の新装備を提案します。

【特許】

名称 **チャイルドシートの補助具**

特許 **第4466617号**

【**A**】 **インターネット検索**

1. 「特許・実用新案検索-特許電子図書館IPDL」入力 → 検索 → クリック
2. [1] 特許・実用新案公報DB → クリック
3. 「文献種別」-「b」 「文献番号」-「4466617」入力  
「文献番号照会」→クリック
4. 「特許4466617」→クリック

下記の図は、【**実施例図**】です、他に良い実施例があれば、提案して下さい。

E-mail: [k-furukawa@castle.ocn.ne.jp](mailto:k-furukawa@castle.ocn.ne.jp)

# 実施例図

## 通常走行



## 事故の時

